



2019年7月27日 ~ 2019年8月2日

2019年8月6日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

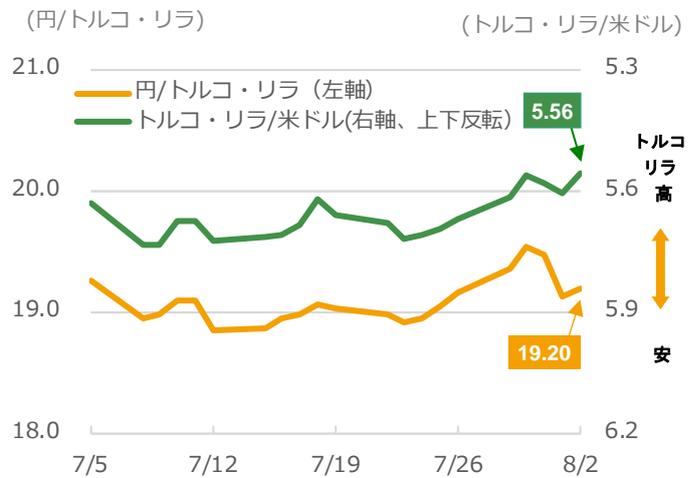
先週は、トルコ中央銀行が四半期インフレレポートを公表しました。中央銀行は2019年のインフレ率予想を14.6%から13.9%へ下方修正し、今後の追加利下げの可能性を示唆しました。トルコ・リラは週前半に上昇したものの、米国FOMC（米国連邦公開市場委員会）や対中関税引き上げを受けたリスク回避的な局面で下落しました。1週間を通してみると、対米ドル・対円ともに上昇しました。国債金利は追加利下げを織り込んで金利低下しました。

今週の見通し

今週は、トルコ国内ではCPI（消費者物価指数）や経常収支などの経済指標が発表されますが、週明けは米中対立の激化懸念が高まる中で変動幅の大きい相場展開が続いています。夏枯れ相場で市場の流動性が低下する中、今週のトルコ・リラは市場のリスクセンチメントや値動きに注意が必要だと考えています。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年7月5日~2019年8月2日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年7月5日~2019年8月2日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。